

## スマート農業実証プロジェクトのアウトリーチ活動を実施しました(9/25)

資源利用研究領域 地域資源利用・管理グループ上級研究員 芦田敏文

当研究部門が参画する「スマート農業実証プロジェクト・多面的機能向上スマート水管理実証コンソーシアム」では、山形県河北町にて ICT を用いた田んぼの水管理技術を中心としたスマート農業技術の実証を行っています。

本コンソーシアムは、9月25日(日)三軒茶屋ふれあい広場(東京都世田谷区三軒茶屋)にて開催された「三茶ふれあいマルシェ vol.10」に出展し、都市住民へのアウトリーチ活動を実施しました。6月に続き、三軒茶屋にて2回目の開催となります。

本コンソーシアムの取り組みから期待される3つの効果(①スマート水管理技術による田んぼの水回り作業の省力化、②田んぼダムによる被災リスクの低減、③ふゆみず田んぼによる冬鳥飛来など生物多様性保全効果)について主に動画を用いて説明し、スマート農業に対する理解を広めました。合わせて、本コンソーシアムの取り組みから期待される効果に対する消費者の評価を把握するために、簡単なアンケート調査を実施しました。

本コンソーシアムに参画してスマート農業に取り組む農園で生産されたお米の販売試験も実施しました。新企画「米のつかみどり」は大好評で、参加者のたくさんの笑顔がみられました。

